平成２５年度

第７回

県民アンケート調査報告書

「食の安全に関する県民意識と
食品安全行政に求めること」

平成２６年３月

新潟県

知事政策局広報広聴課

目　次

Ⅰ　調査の概要・・・

Ⅰ　調査の概要

１　調査項目

食の安全に関する県民意識と食品安全行政に求めること

２　調査目的

県では、「にいがた食の安全・安心条例」に基づく基本計画を策定し、食の安全・安心に関する各種施策に取り組んでいるところである。

計画を進めるにあたり、今回のアンケートにより、安全に関する県民意識や県の食品安全行政に対する要望を把握し、施策に生かすことを目的とする。

３　調査期間

平成２５年１２月２４日（火）～２６年１月２４日（金）

４　調査方法

郵送調査

５　調査対象者

新潟県に在住する20歳以上の男女

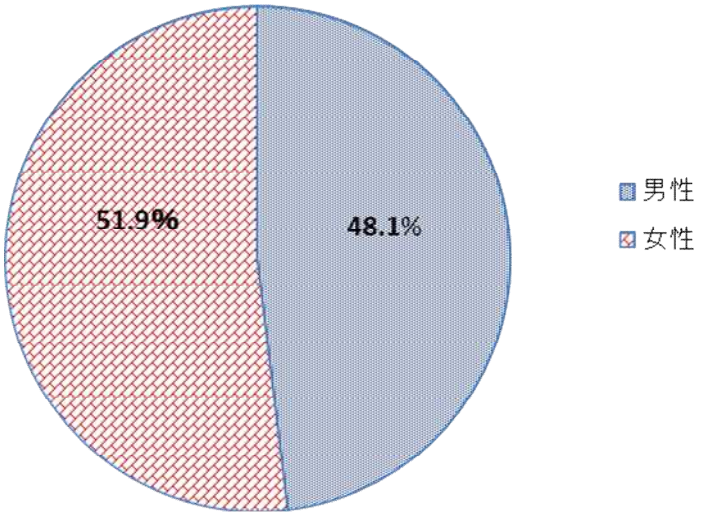
６　回答者数

３６４人（回収率８０．９％）

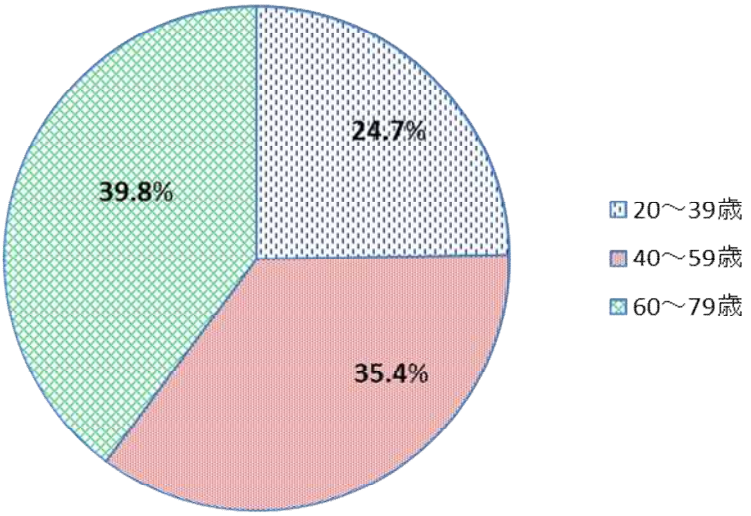
７　アンケート調査回答者の構成

		対象者		回答者		回収率（%）
		実数（人）	構成比（%）	実数（人）	構成比（%）	
		450	100.0	364	100.0	80.9
性別	男性	223	49.6	175	48.1	78.5
	女性	227	50.4	189	51.9	83.3
年齢別	２０～３９歳	127	28.2	90	24.7	70.9
	４０～５９歳	158	35.1	129	35.4	81.6
	６０～７９歳	165	36.7	145	39.8	87.9
地区別	下越地区	40	8.9	32	8.8	80.0
	新潟地区	179	39.8	139	38.2	77.7
	中越地区	132	29.3	111	30.5	84.1
	魚沼地区	33	7.3	31	8.5	93.9
	上越地区	54	12.0	43	11.8	79.6
	佐渡地区	12	2.7	8	2.2	66.7

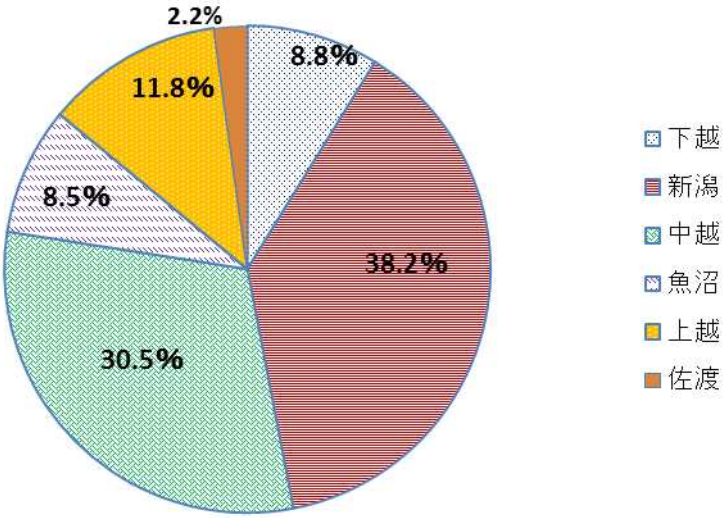
○男女別構成



○年代別構成



○地区別構成

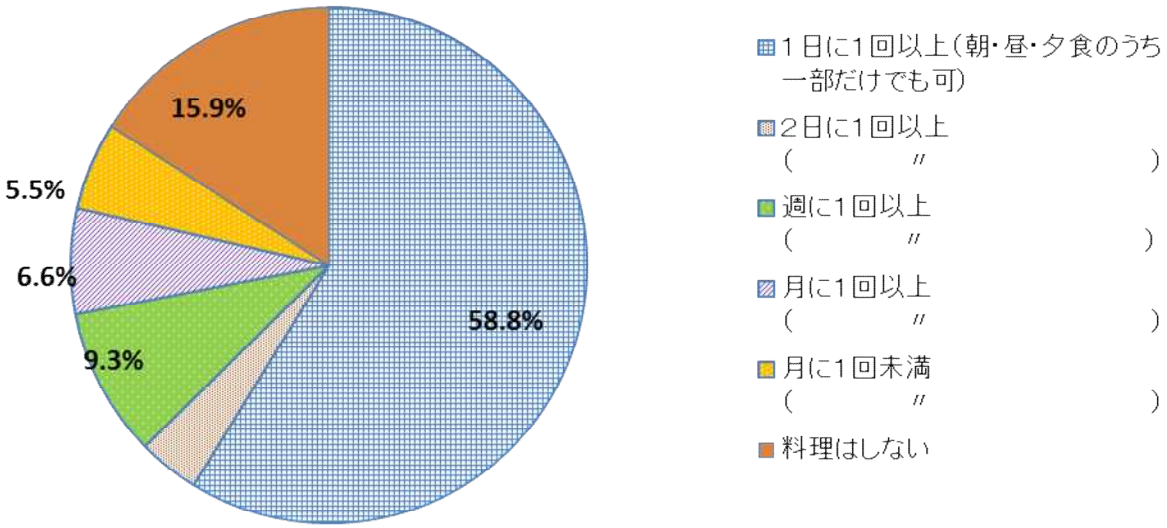


Ⅱ　調査結果の概要

【普段の料理頻度について】

問１：あなたは普段自宅で、どのくらいの頻度であなたや家族の食事を料理しますか。（一つだけ選択）

選択肢	件数	(全体)%
１日に1回以上(朝･昼･夕食のうち一部だけでも可)	214	58.8
２日に1回以上(　　〃　　)	14	3.8
週に1回以上　(　　〃　　)	34	9.3
月に1回以上　(　　〃　　)	24	6.6
月に1回未満　(　　〃　　)	20	5.5
料理はしない	58	15.9
不明	0	0.0
（全体数）	364	100.0



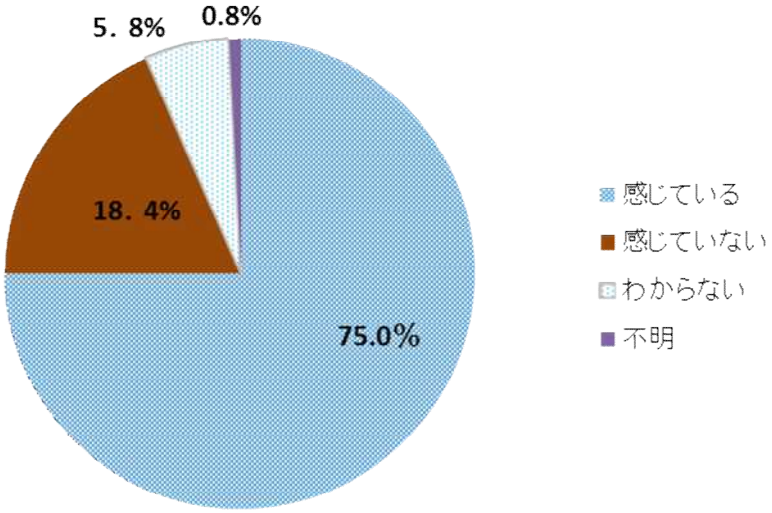
【男女・年代別】

1日に1回以上(朝・昼・夕食のうち一部だけでも可)
2日に1回以上(〃)
週に1回以上(〃)
月に1回以上(〃)
月に1回未満(〃)
料理はしない
0%
25%
50%
75%
100%
全体(n=364)
58.8%
3.8%
9.3%
6.6%
5.5%
15.9%
20～39歳(n=90)
42.2%
3.3%
22.2%
10.0%
5.6%
16.7%
40～59歳(n=129)
62.0%
3.9%
8.5%
4.7%
4.7%
16.3%
60～79歳(n=145)
66.2%
4.1%
6.2%
6.2%
15.2%
2.1%
男性(n=175)
33.1%
5.7%
12.0%
11.4%
8.6%
29.1%
20～39歳(n=44)
27.3%
6.8%
20.5%
18.2%
4.5%
22.7%
40～59歳(n=61)
34.4%
3.3%
14.8%
6.6%
8.2%
32.8%
60～79歳(n=70)
35.7%
7.1%
11.4%
11.4%
30.0%
4.3%
2.6%
女性(n=189)
82.5%
2.1%
6.9%
3.7%
2.1%
20～39歳(n=46)
56.5%
0.0%
23.9%
2.2%
6.5%
10.9%
40～59歳(n=68)
86.8%
4.4%
2.9%
2.9%
60～79歳(n=75)
94.7%
1.3%
1.3%
1.3%
0.0%

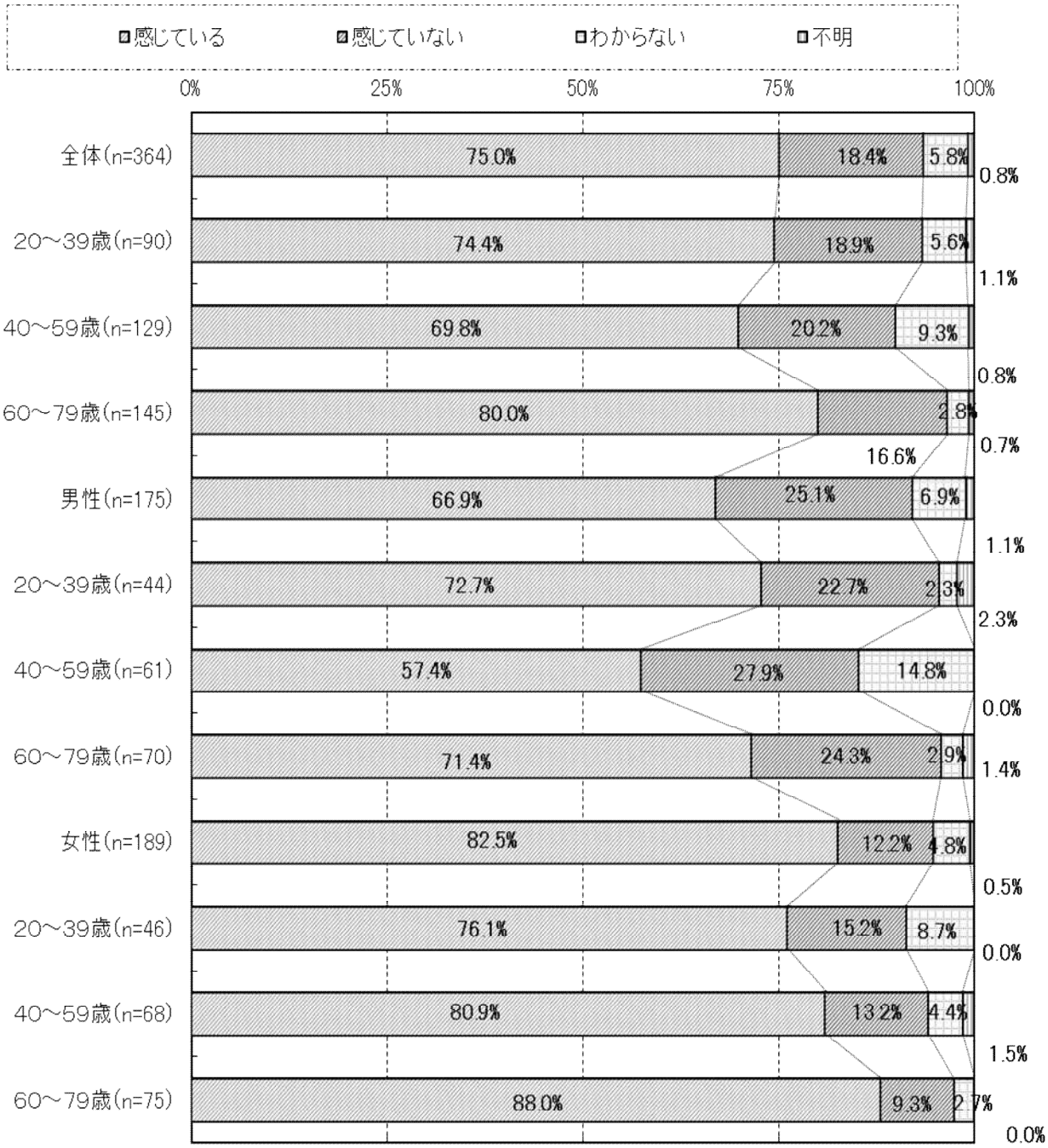
【食の安全に関する意識（不安について）】

問２：　食品の安全性について不安を感じていますか。（一つだけ選択）

選択肢	件数	%
感じている	273	75.0
感じていない	67	18.4
わからない	21	5.8
不明	3	0.8
（全体）	364	100.0



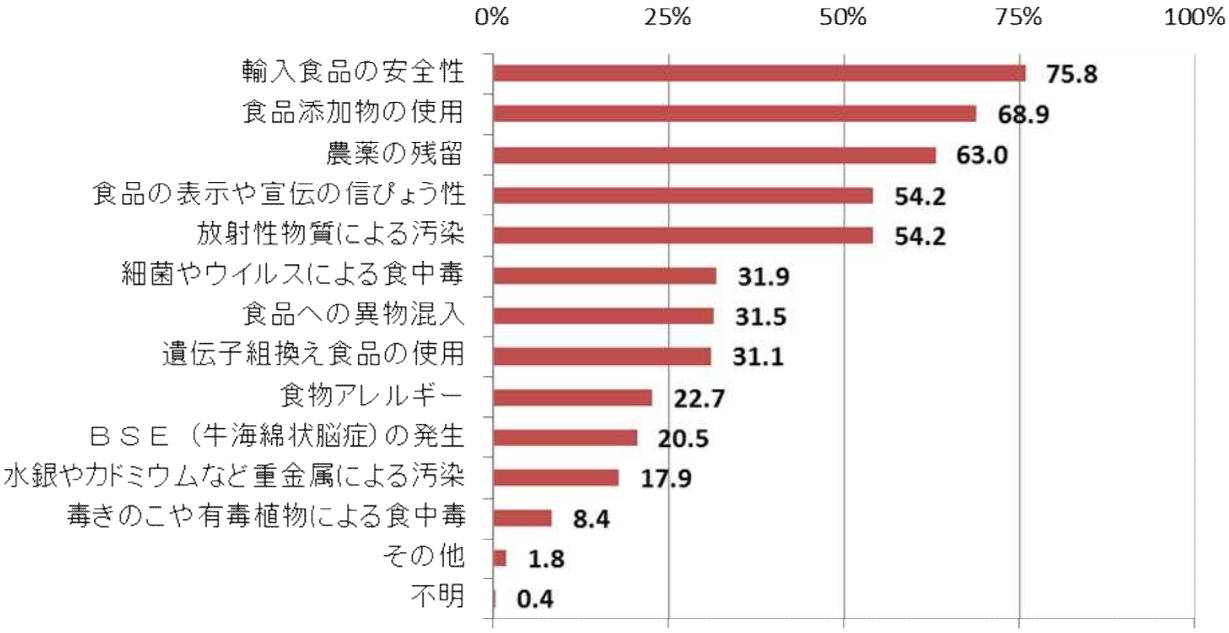
【男女・年代別】


感じている
感じていない
わからない
不明
0%
25%
50%
75%
100%
全体(n=364)
75.0%
18.4%
5.8%
0.8%
20～39歳(n=90)
74.4%
18.9%
5.6%
1.1%
40～59歳(n=129)
69.8%
20.2%
9.3%
0.8%
60～79歳(n=145)
80.0%
2.8%
16.6%
0.7%
男性(n=175)
66.9%
25.1%
6.9%
1.1%
20～39歳(n=44)
72.7%
22.7%
2.3%
2.3%
40～59歳(n=61)
57.4%
27.9%
14.8%
0.0%
60～79歳(n=70)
71.4%
24.3%
2.9%
1.4%
女性(n=189)
82.5%
12.2%
4.8%
0.5%
20～39歳(n=46)
76.1%
15.2%
8.7%
0.0%
40～59歳(n=68)
80.9%
13.2%
4.4%
1.5%
60～79歳(n=75)
88.0%
9.3%
2.7%
0.0%

（問２で「不安を感じている」と答えた方にお聞きします）

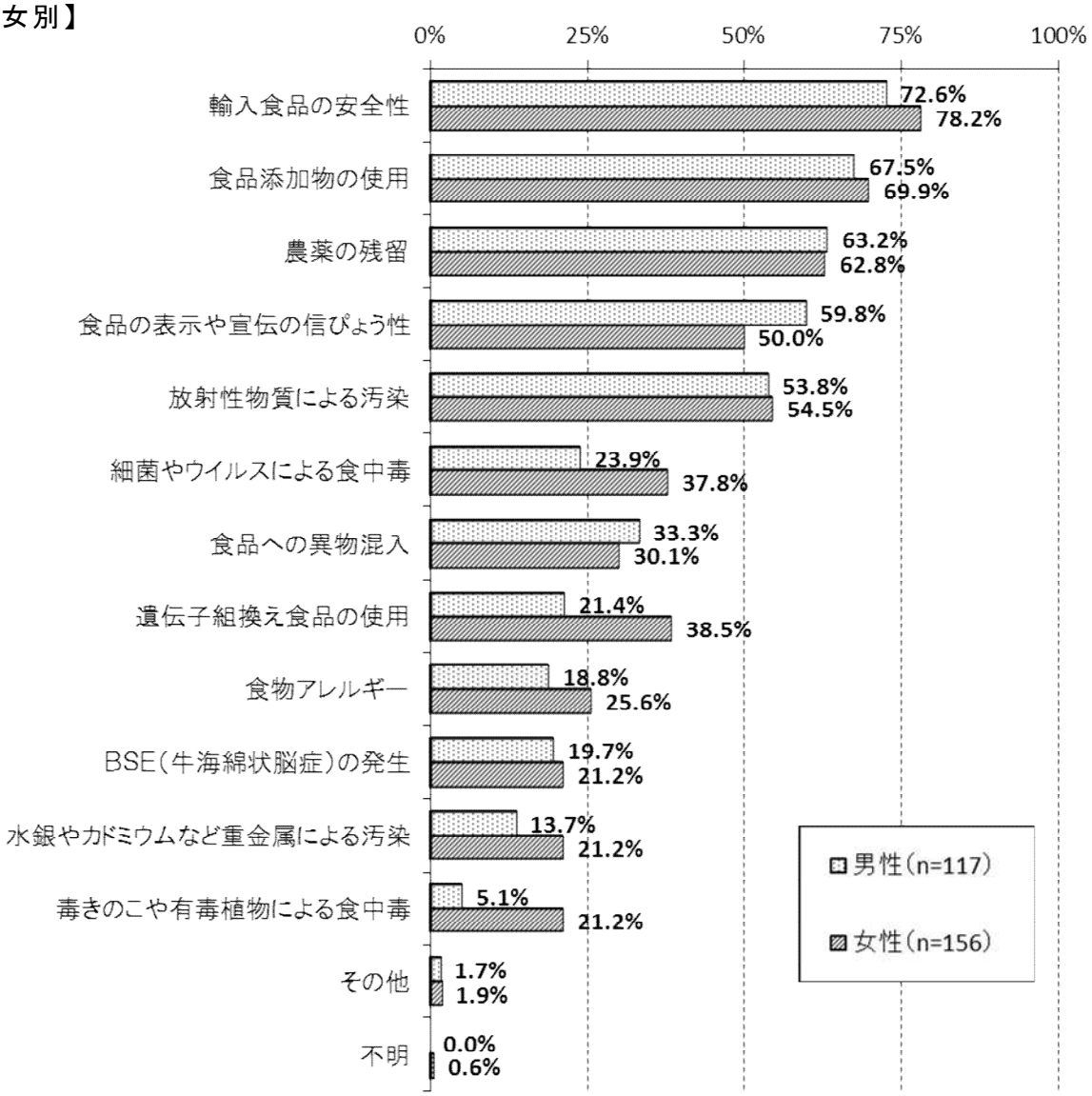
問２−２：　具体的にどのようなことに不安を感じていますか。
（当てはまるもの全て選択）

選択肢	件数	%
輸入食品の安全性	207	75.8
食品添加物の使用	188	68.9
農薬の残留	172	63.0
放射性物質による汚染	148	54.2
食品の表示や宣伝の信ぴょう性	148	54.2
細菌やウイルスによる食中毒	87	31.9
食品への異物混入	86	31.5
遺伝子組換え食品の使用	85	31.1
食物アレルギー	62	22.7
ＢＳＥ（牛海綿状脳症）の発生	56	20.5
水銀やカドミウムなど重金属による汚染	49	17.9
毒きのこや有毒植物による食中毒	23	8.4
その他	5	1.8
不明	1	0.4
（全体）	273	100.0

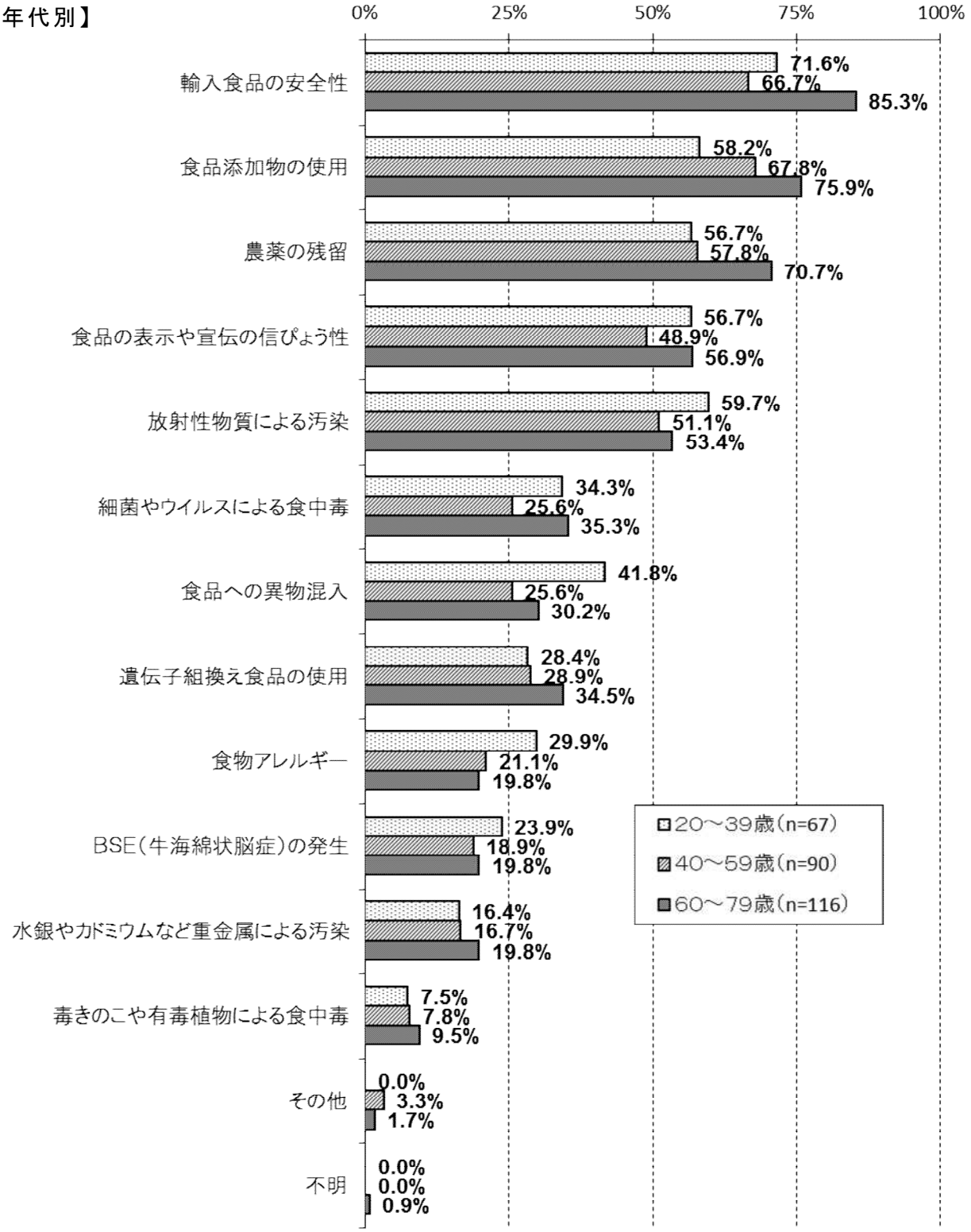


●「その他」内容●
・食品の輸入が利益の追求のためになっている。安ければいいという消費者もよくないが・・・
・上記選択肢の全てを含め、情報を100％信じられない(自給自足できないので、折り合いをつけて購入するだけ)　　等

【男女別】


0%
25%
50%
75%
100%
輸入食品の安全性
72.6%
78.2%
食品添加物の使用
67.5%
69.9%
農薬の残留
63.2%
62.8%
食品の表示や宣伝の信ぴょう性
59.8%
50.0%
放射性物質による汚染
53.8%
54.5%
細菌やウイルスによる食中毒
23.9%
37.8%
食品への異物混入
33.3%
30.1%
遺伝子組換え食品の使用
21.4%
38.5%
食物アレルギー
18.8%
25.6%
BSE(牛海綿状脳症)の発生
19.7%
21.2%
水銀やカドミウムなど重金属による汚染
13.7%
21.2%
毒きのこや有毒植物による食中毒
5.1%
21.2%
その他
1.7%
1.9%
不明
0.0%
0.6%
男性(n=117)
女性(n=156)

【年代別】

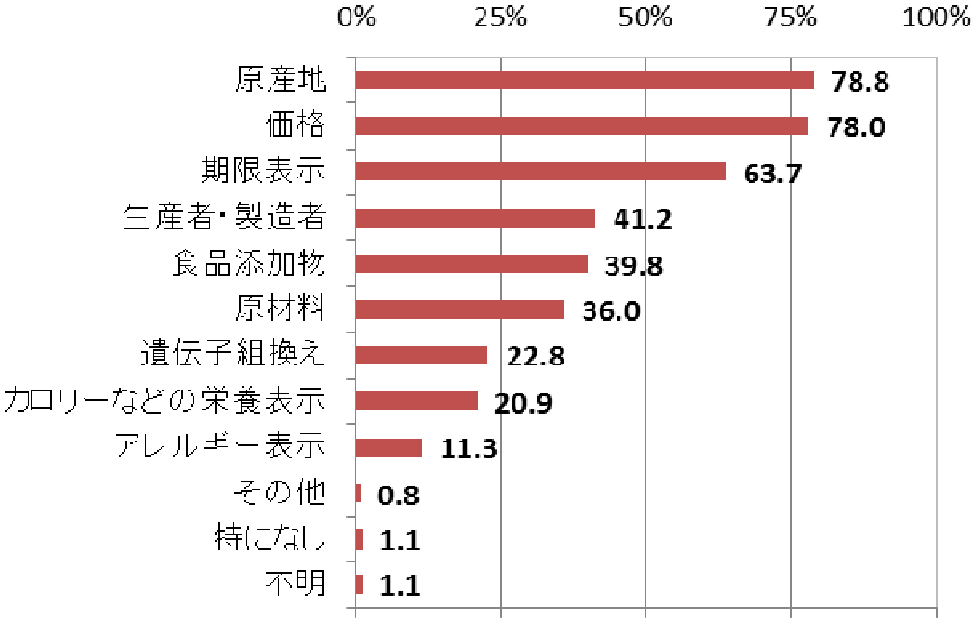

0%
25%
50%
75%
100%
輸入食品の安全性
71.6%
66.7%
85.3%
食品添加物の使用
58.2%
67.8%
75.9%
農薬の残留
56.7%
57.8%
70.7%
食品の表示や宣伝の信ぴょう性
56.7%
48.9%
56.9%
放射性物質による汚染
59.7%
51.1%
53.4%
細菌やウイルスによる食中毒
34.3%
25.6%
35.3%
食品への異物混入
41.8%
25.6%
30.2%
遺伝子組換え食品の使用
28.4%
28.9%
34.5%
食物アレルギー
29.9%
21.1%
19.8%
BSE(牛海綿状脳症)の発生
23.9%
18.9%
19.8%
水銀やカドミウムなど重金属による汚染
16.4%
16.7%
19.8%
毒きのこや有毒植物による食中毒
7.5%
7.8%
9.5%
その他
0.0%
3.3%
1.7%
不明
0.0%
0.0%
0.9%
20～39歳(n=67)
40～59歳(n=90)
60～79歳(n=116)

（以降、すべての方にお聞きします）

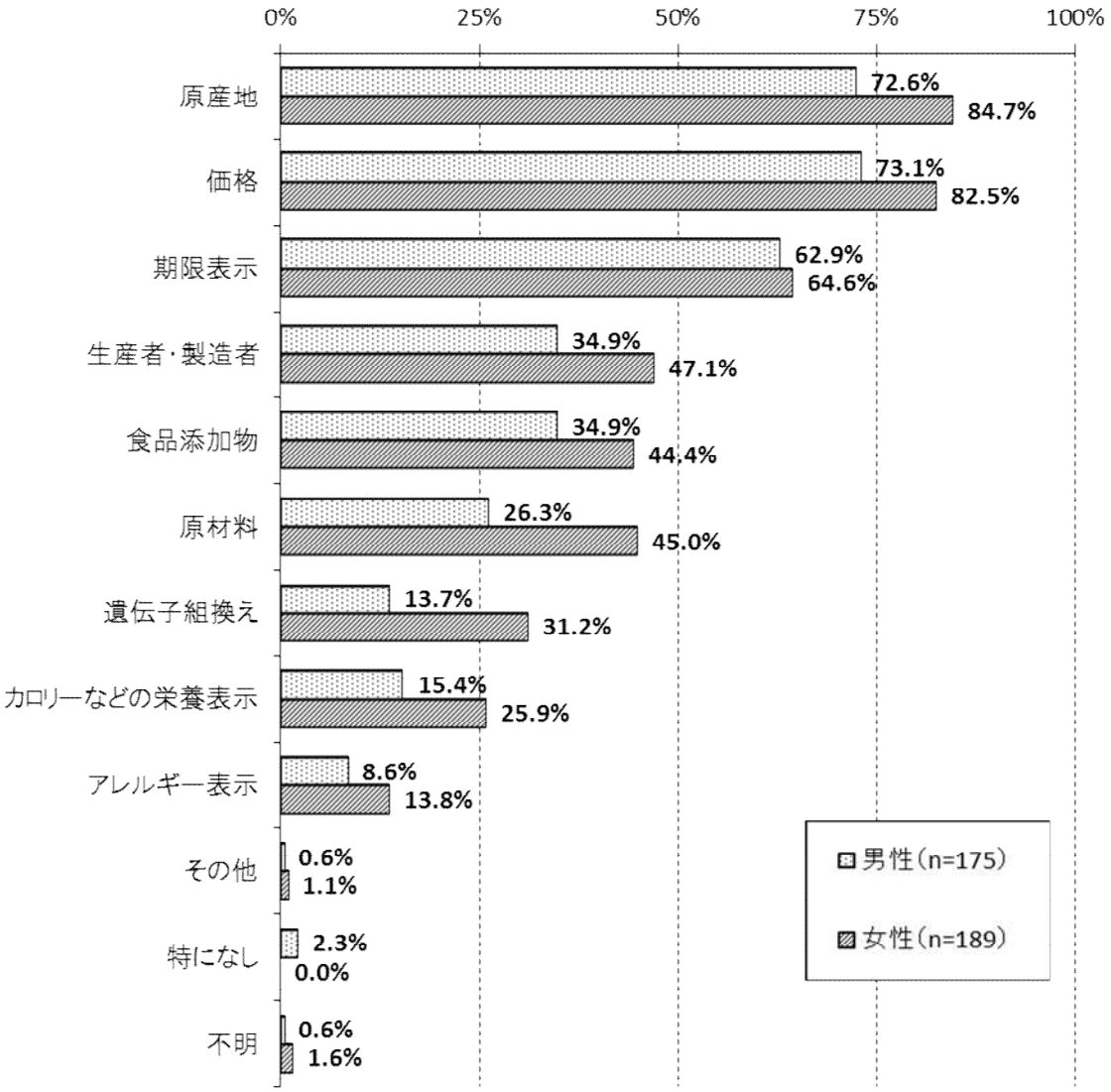
【食の安全に関する意識（表示について】

問３：あなたは食品を購入する際、どの表示事項を重視していますか。
（当てはまるものすべて選択）

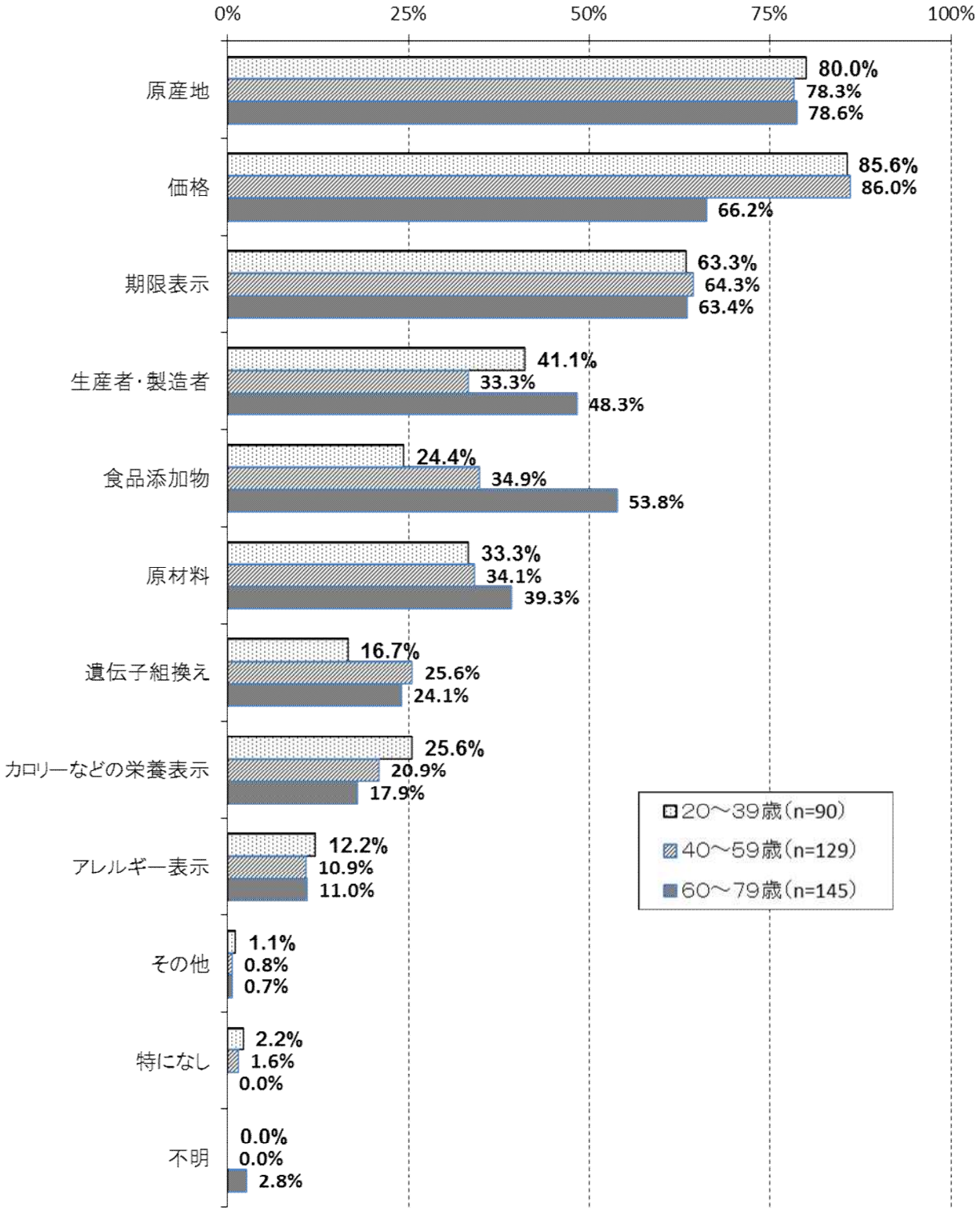
選択肢	件数	%
原産地	287	78.8
価格	284	78.0
期限表示	232	63.7
生産者・製造者	150	41.2
食品添加物	145	39.8
原材料	131	36.0
遺伝子組換え	83	22.8
カロリーなどの栄養表示	76	20.9
アレルギー表示	41	11.3
その他	3	0.8
特になし	4	1.1
不明	4	1.1
（全体）	364	100.0



【男女別】


0%
25%
50%
75%
100%
原産地
72.6%
84.7%
価格
73.1%
82.5%
期限表示
62.9%
64.6%
生産者･製造者
34.9%
47.1%
食品添加物
34.9%
44.4%
原材料
26.3%
45.0%
遺伝子組換え
13.7%
31.2%
カロリーなどの栄養表示
15.4%
25.9%
アレルギー表示
8.6%
13.8%
その他
0.6%
1.1%
特になし
2.3%
0.0%
不明
0.6%
1.6%
男性（n=175）
女性（n=189）

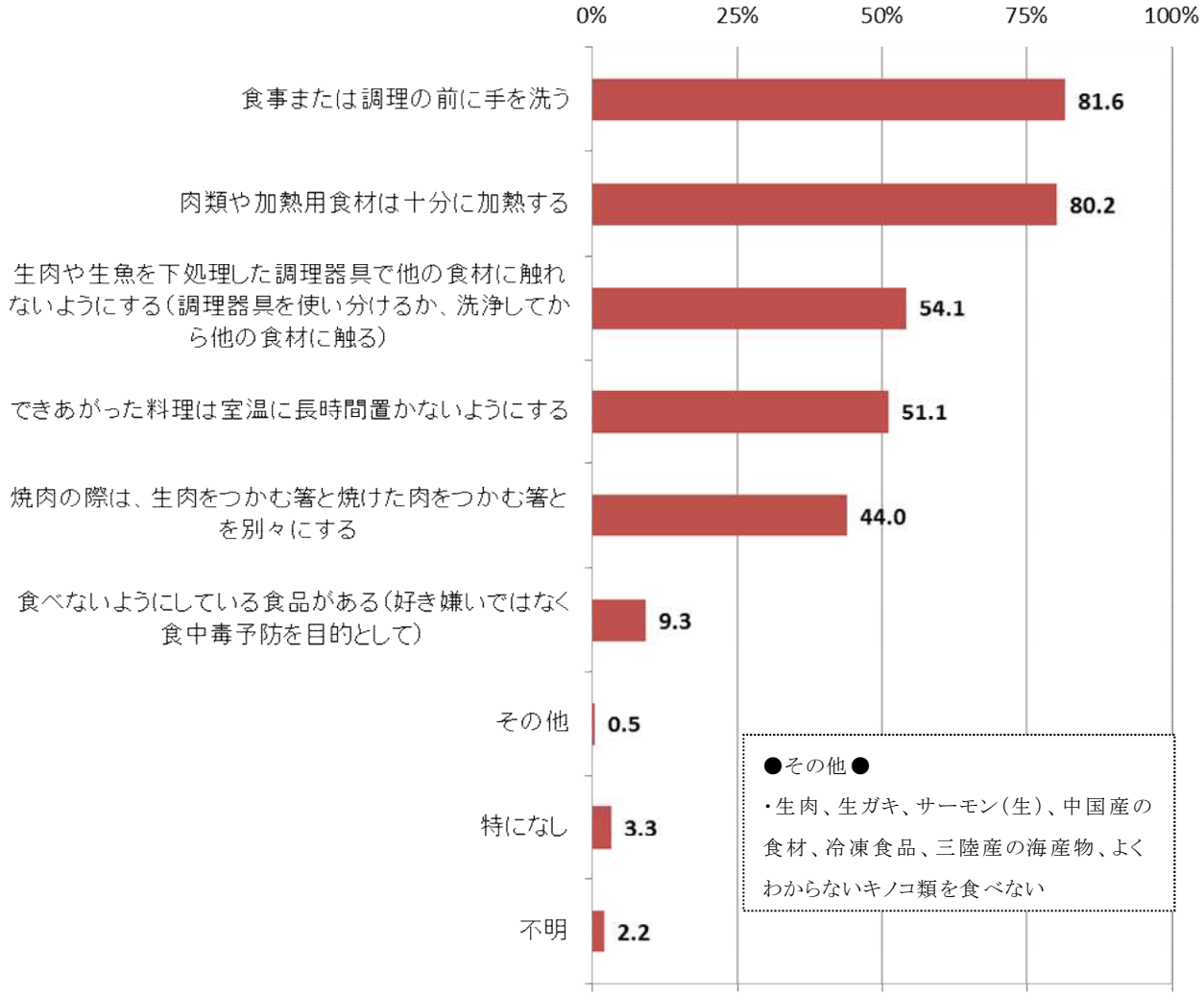
【年代別】


0%
25%
50%
75%
100%
原産地
80.0%
78.3%
78.6%
価格
85.6%
86.0%
66.2%
期限表示
63.3%
64.3%
63.4%
生産者・製造者
41.1%
33.3%
48.3%
食品添加物
24.4%
34.9%
53.8%
原材料
33.3%
34.1%
39.3%
遺伝子組換え
16.7%
25.6%
24.1%
カロリーなどの栄養表示
25.6%
20.9%
17.9%
アレルギー表示
12.2%
10.9%
11.0%
その他
1.1%
0.8%
0.7%
特になし
2.2%
1.6%
0.0%
不明
0.0%
0.0%
2.8%
20～39歳(n=90)
40～59歳(n=129)
60～79歳(n=145)

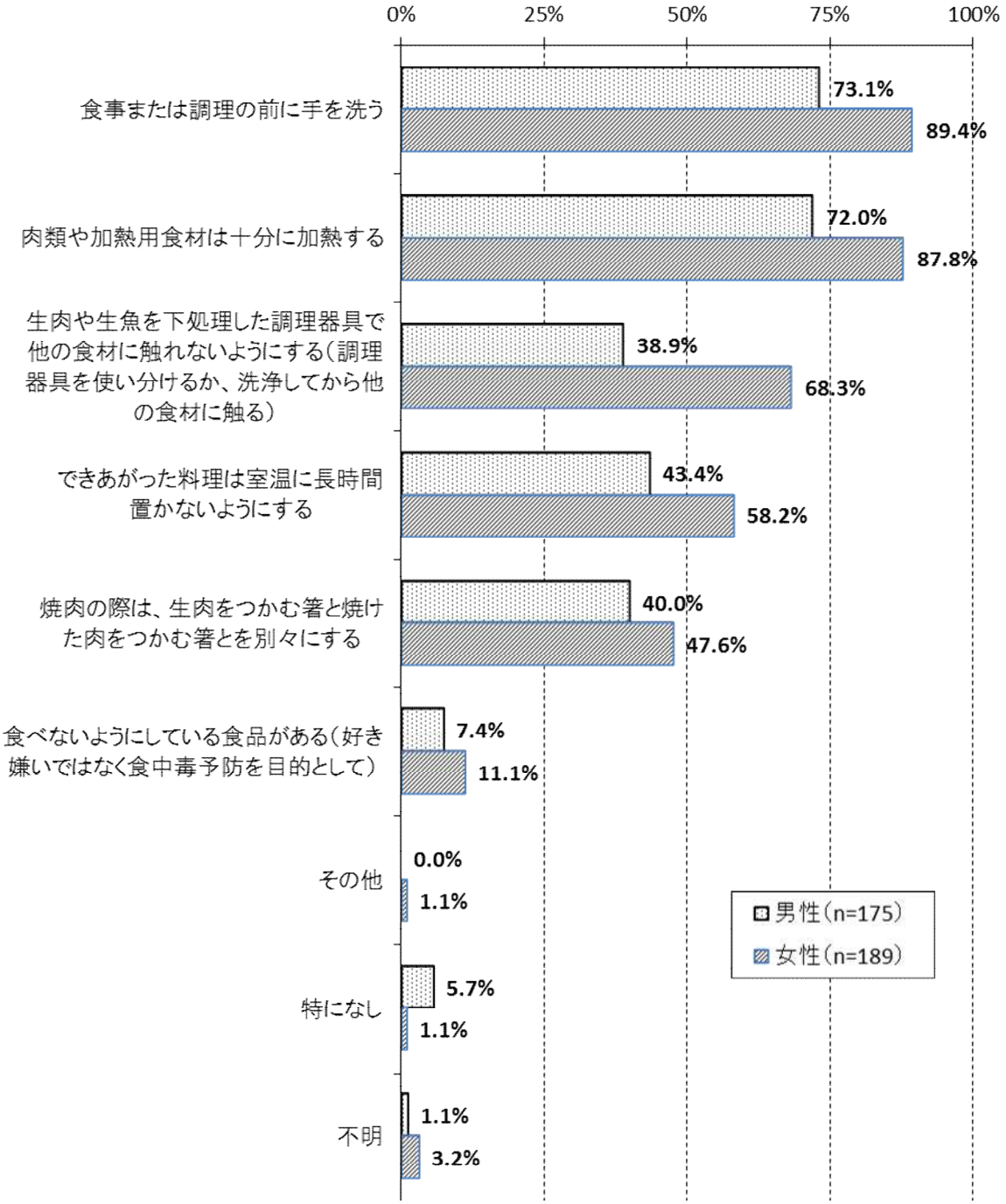
【食の安全に関する意識（食中毒予防について）】

問４：あなたは普段の食生活で、食中毒予防のために心がけていることがありますか。（当てはまるものすべて選択）

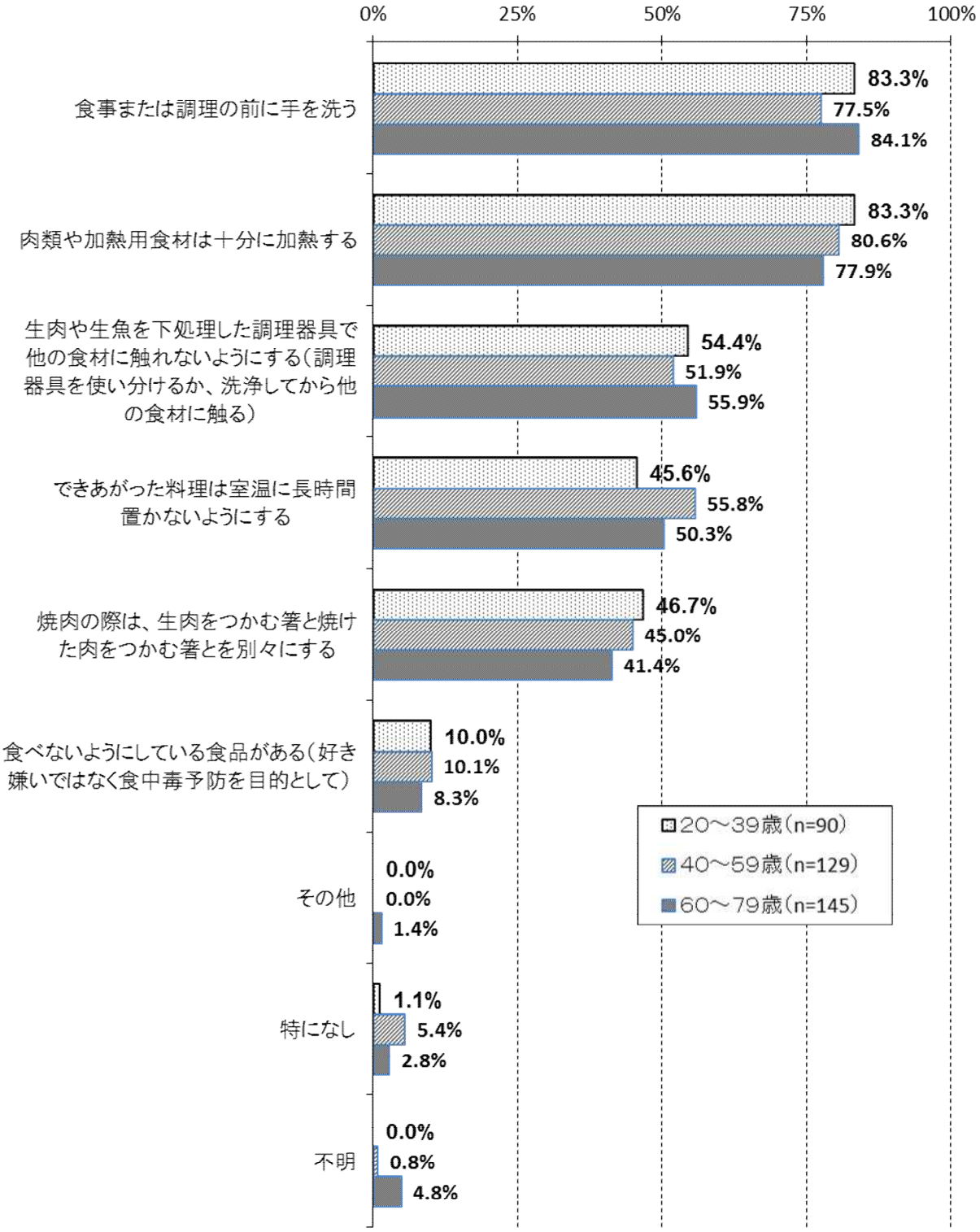
選択肢	件数	(全体)%
食事または調理の前に手を洗う	297	81.6
肉類や加熱用食材は十分に加熱する	292	80.2
生肉や生魚を下処理した調理器具で他の食材に触れないようにする(調理器具を使い分けるか、洗浄してから他の食材に触る)	197	54.1
できあがった料理は室温に長時間置かないようにする	186	51.1
焼肉の際は、生肉をつかむ箸と焼けた肉をつかむ箸とを別々にする	160	44.0
食べないようにしている食品がある(好き嫌いではなく食中毒予防を目的として)	34	9.3
その他	2	0.5
特になし	12	3.3
不明	8	2.2
(全体)	364	100.0



【男女別】


0%
25%
50%
75%
100%
食事または調理の前に手を洗う
73.1%
89.4%
肉類や加熱用食材は十分に加熱する
72.0%
87.8%
生肉や生魚を下処理した調理器具で他の食材に触れないようにする（調理器具を使い分けるか、洗浄してから他の食材に触る）
38.9%
68.3%
できあがった料理は室温に長時間置かないようにする
43.4%
58.2%
焼肉の際は、生肉をつかむ箸と焼けた肉をつかむ箸とを別々にする
40.0%
47.6%
食べないようにしている食品がある（好き嫌いではなく食中毒予防を目的として）
7.4%
11.1%
その他
0.0%
1.1%
特になし
5.7%
1.1%
不明
1.1%
3.2%
男性（n=175）
女性（n=189）

【年代別】


0%
25%
50%
75%
100%
食事または調理の前に手を洗う
83.3%
77.5%
84.1%
肉類や加熱用食材は十分に加熱する
83.3%
80.6%
77.9%
生肉や生魚を下処理した調理器具で他の食材に触れないようにする（調理器具を使い分けるか、洗浄してから他の食材に触る）
54.4%
51.9%
55.9%
できあがった料理は室温に長時間置かないようにする
45.6%
55.8%
50.3%
焼肉の際は、生肉をつかむ箸と焼けた肉をつかむ箸とを別々にする
46.7%
45.0%
41.4%
食べないようにしている食品がある（好き嫌いではなく食中毒予防を目的として）
10.0%
10.1%
8.3%
その他
0.0%
0.0%
1.4%
特になし
1.1%
5.4%
2.8%
不明
0.0%
0.8%
4.8%
20～39歳（n=90）
40～59歳（n=129）
60～79歳（n=145）

【食品安全行政について（情報発信）】

問５：県では、「にいがた食の安全・安心条例」を制定し、下図に示したような取組を重点的に行っています。食の安全に関する情報の発信にも取り組んでいるところですが、あなたが県から特に発信してほしい内容はどれですか。（当てはまるものすべて選択）

県が重点的に行っている取組

食品の検査

・残留農薬、添加物、微生物などの検査
・放射性物質検査（平成23年3月に開始。25年10月時点で約16,000品の農林水産物・加工品を検査）

環境にやさしい農業の推進

・農薬や化学肥料を3割以上減らした農産物の栽培面積を県耕地面積の1/3に拡大

食品事業者に対する指導

・飲食店、製造業、販売業への立入指導（食中毒等のリスクが高い業種を重点的に）
・表示制度の指導・啓発
・食品衛生法違反者の公表

食の安全・安心確保の主な取組

にいがた食の安全・安心条例

地産地消運動の実施

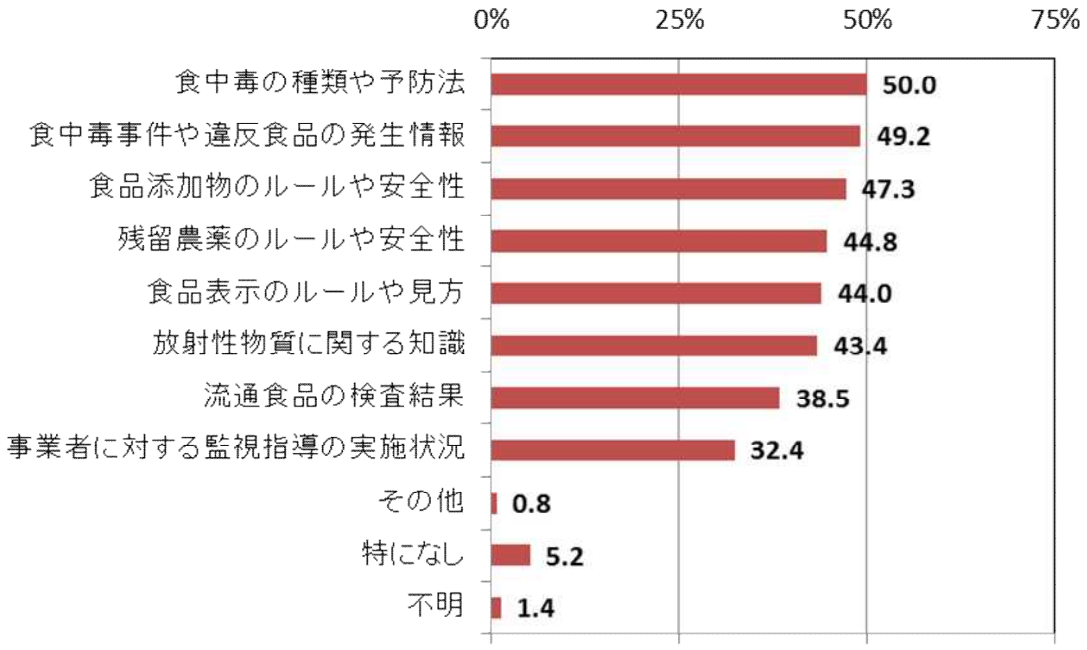
・直売所設置の支援
・学校給食での県産食材使用拡大

店頭掲示板
（スーパーマーケット等に掲示）

食の安全情報の提供

・ホームページの充実、メールマガジン配信
・店頭掲示板による食の安全情報の発信
・食の安全・安心に関する意見交換会、出前講座

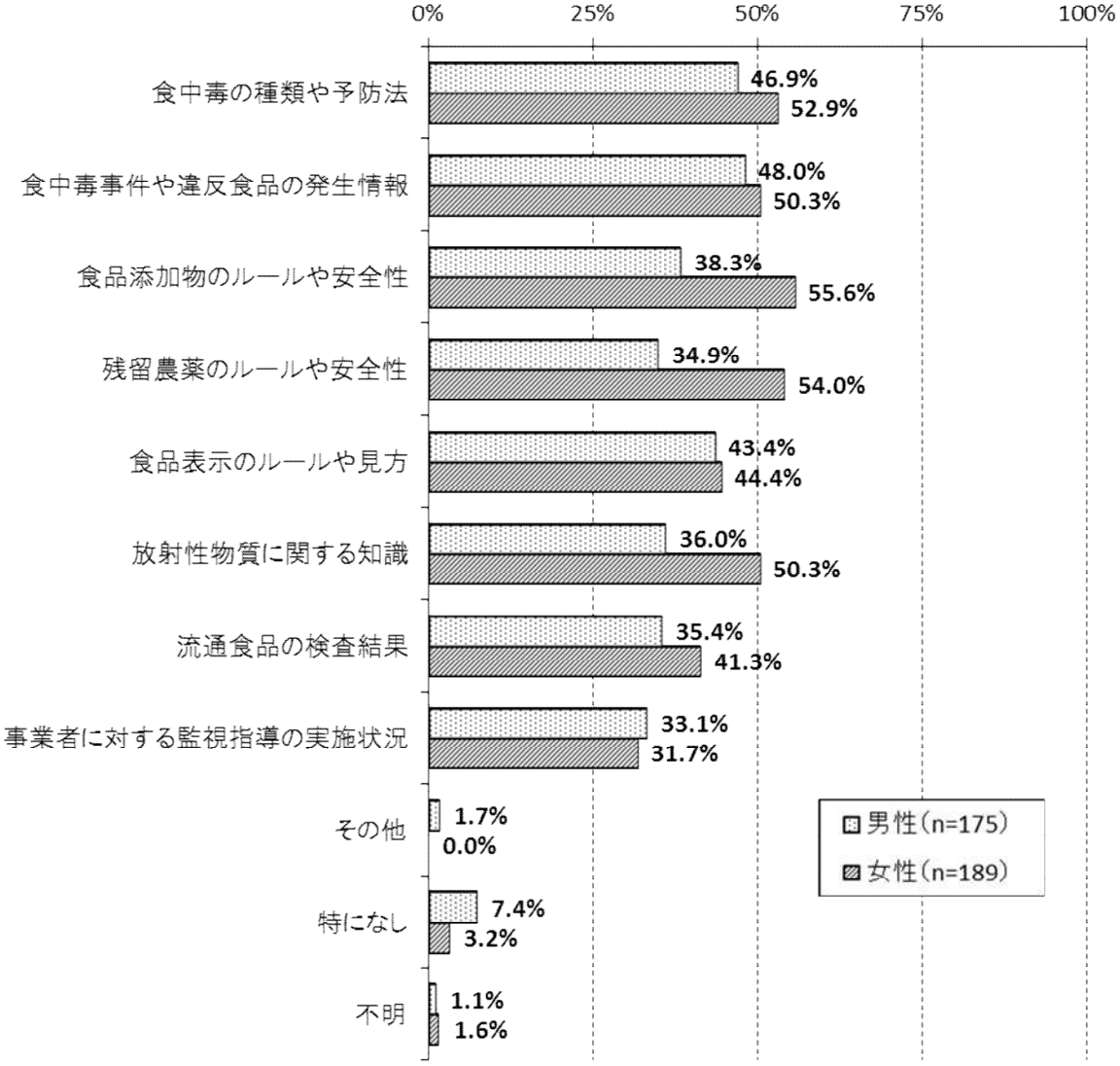
選択肢	件数	(全体)%
食中毒の種類や予防法	182	50.0
食中毒事件や違反食品の発生情報	179	49.2
食品添加物のルールや安全性	172	47.3
残留農薬のルールや安全性	163	44.8
食品表示のルールや見方	160	44.0
放射性物質に関する知識	158	43.4
流通食品の検査結果	140	38.5
事業者に対する監視指導の実施状況	118	32.4
その他	3	0.8
特になし	19	5.2
不明	5	1.4
(全体)	364	100.0



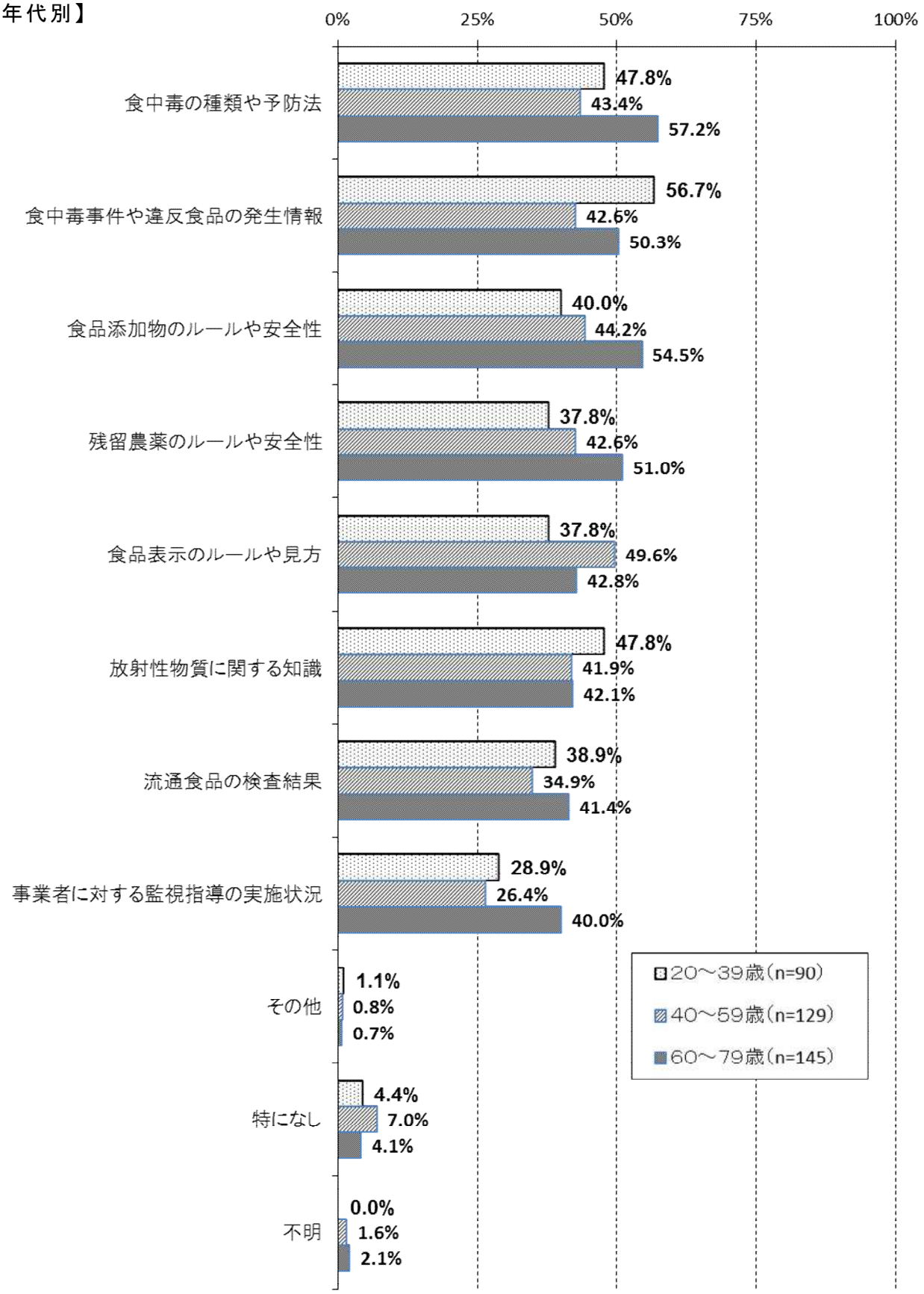
●その他●

・海外からの輸入食品の検査結果

【男女別】


0%
25%
50%
75%
100%
食中毒の種類や予防法
46.9%
52.9%
食中毒事件や違反食品の発生情報
48.0%
50.3%
食品添加物のルールや安全性
38.3%
55.6%
残留農薬のルールや安全性
34.9%
54.0%
食品表示のルールや見方
43.4%
44.4%
放射性物質に関する知識
36.0%
50.3%
流通食品の検査結果
35.4%
41.3%
事業者に対する監視指導の実施状況
33.1%
31.7%
その他
1.7%
0.0%
特になし
7.4%
3.2%
不明
1.1%
1.6%
男性(n=175)
女性(n=189)

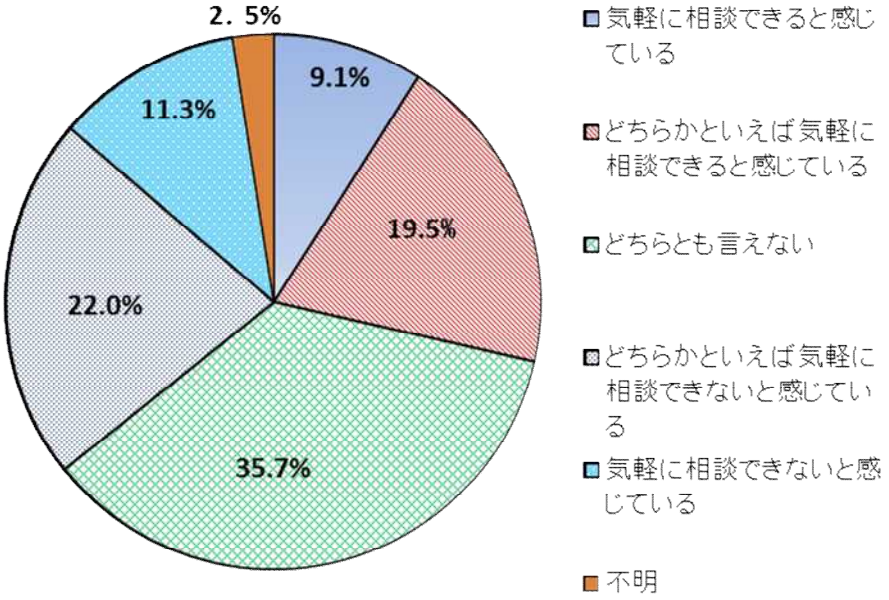
【年代別】


0%
25%
50%
75%
100%
食中毒の種類や予防法
47.8%
43.4%
57.2%
食中毒事件や違反食品の発生情報
56.7%
42.6%
50.3%
食品添加物のルールや安全性
40.0%
44.2%
54.5%
残留農薬のルールや安全性
37.8%
42.6%
51.0%
食品表示のルールや見方
37.8%
49.6%
42.8%
放射性物質に関する知識
47.8%
41.9%
42.1%
流通食品の検査結果
38.9%
34.9%
41.4%
事業者に対する監視指導の実施状況
28.9%
26.4%
40.0%
その他
1.1%
0.8%
0.7%
特になし
4.4%
7.0%
4.1%
不明
0.0%
1.6%
2.1%
20～39歳(n=90)
40～59歳(n=129)
60～79歳(n=145)

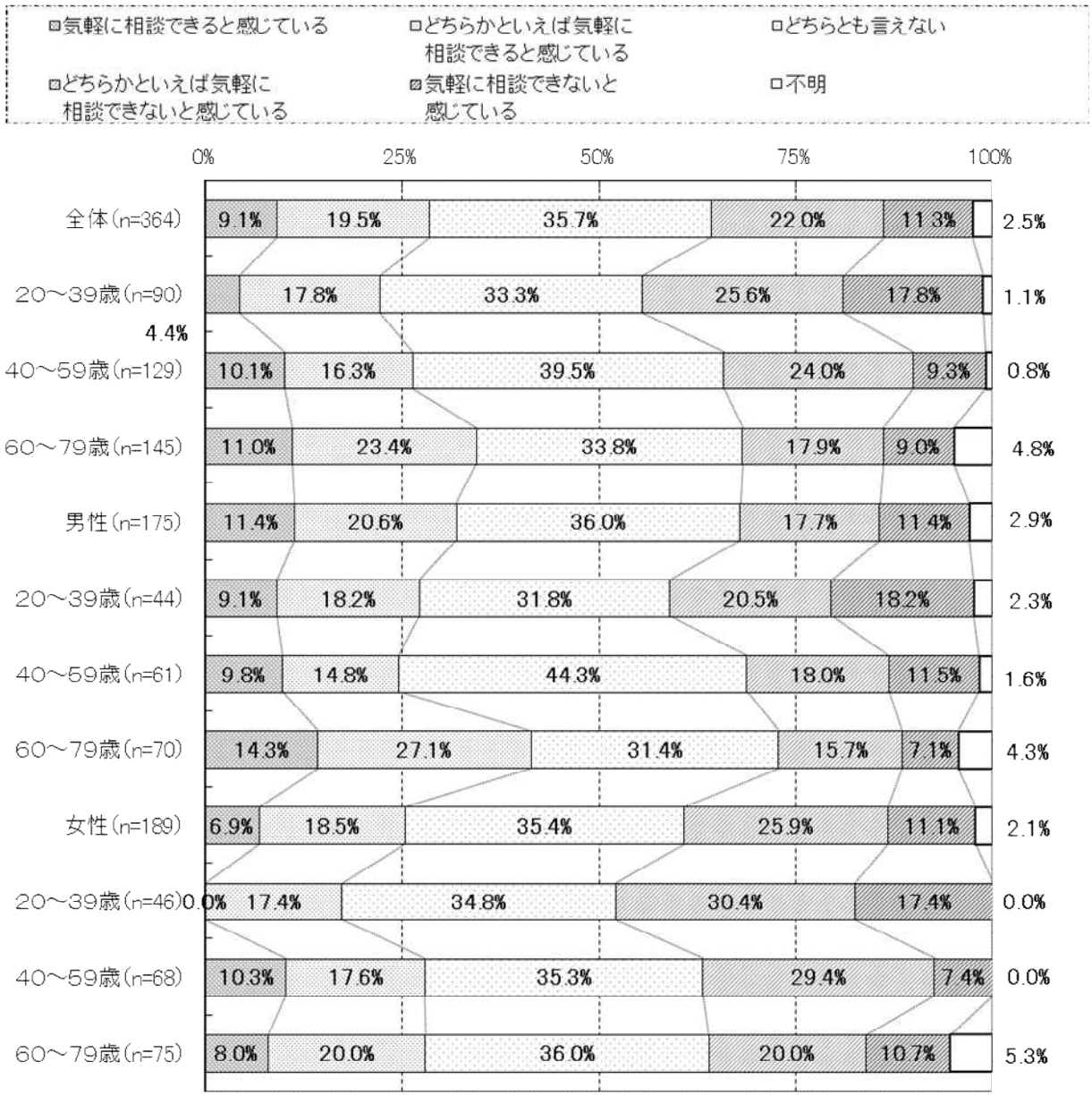
【食品安全行政について（相談窓口）】

問６：あなたは、行政機関（保健所、消費生活センターなど）に対し、食品の安全面や表示に関する苦情や疑問を気軽に相談できると感じていますか。（１つだけ選択）

選択肢	件数	(全体)%
気軽に相談できると感じている	33	9.1
どちらかといえば気軽に相談できると感じている	71	19.5
どちらとも言えない	130	35.7
どちらかといえば気軽に相談できないと感じている	80	22.0
気軽に相談できないと感じている	41	11.3
不明	9	2.5
（全体）	364	100.0



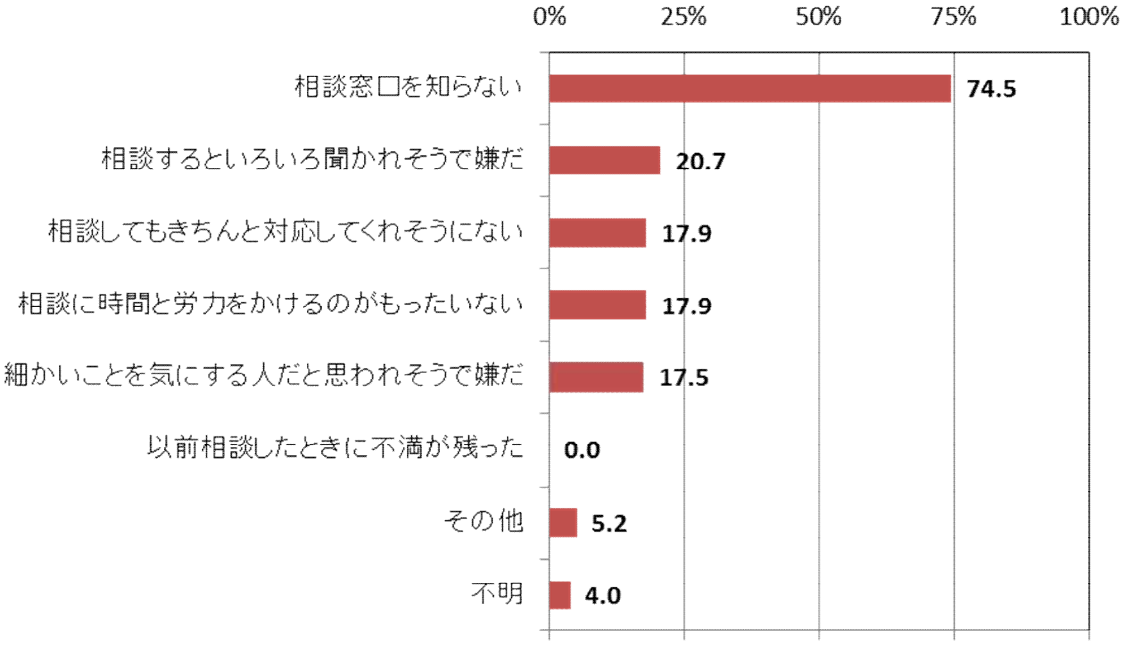
【男女・年代別】


気軽に相談できると感じている
どちらかといえば気軽に相談できると感じている
どちらとも言えない
どちらかといえば気軽に相談できないと感じている
気軽に相談できないと感じている
不明
0%
25%
50%
75%
100%
全体(n=364) 9.1% 19.5% 35.7% 22.0% 11.3% 2.5%
20～39歳(n=90) 4.4% 17.8% 33.3% 25.6% 17.8% 1.1%
40～59歳(n=129) 10.1% 16.3% 39.5% 24.0% 9.3% 0.8%
60～79歳(n=145) 11.0% 23.4% 33.8% 17.9% 9.0% 4.8%
男性(n=175) 11.4% 20.6% 36.0% 17.7% 11.4% 2.9%
20～39歳(n=44) 9.1% 18.2% 31.8% 20.5% 18.2% 2.3%
40～59歳(n=61) 9.8% 14.8% 44.3% 18.0% 11.5% 1.6%
60～79歳(n=70) 14.3% 27.1% 31.4% 15.7% 7.1% 4.3%
女性(n=189) 6.9% 18.5% 35.4% 25.9% 11.1% 2.1%
20～39歳(n=46) 0.0% 17.4% 34.8% 30.4% 17.4% 0.0%
40～59歳(n=68) 10.3% 17.6% 35.3% 29.4% 7.4% 0.0%
60～79歳(n=75) 8.0% 20.0% 36.0% 20.0% 10.7% 5.3%

（問６で、「どちらとも言えない」「どちらかといえば気軽に相談できないと感じている」「気軽に相談できないと感じている」を選んだ方にお聞きします）

問６－２：気軽に相談できないと感じる理由は何ですか。（当てはまるものすべて選択）

選択肢	件数	%
相談窓口を知らない	187	74.5
相談するといろいろ聞かれそうで嫌だ	52	20.7
相談に時間と労力をかけるのがもったいない	45	17.9
相談してもきちんと対応してくれそうにない	45	17.9
細かいことを気にする人だと思われそうで嫌だ	44	17.5
以前相談したときに不満が残った	0	0.0
その他	13	5.2
不明	10	4.0
（全体）	251	100.0



●その他●

・秘密を守ってくれない

・相談内容にもよると思うが、仮に食品業者、林産漁業、栽培農家等への不満があった場合、「もっともなこと」と受け止めてくれるのか、業者側に立って説明し、相談に行った者を説得するのか、そのあたりで気後れする

・窓口の開いている時間と自分の就業時間が重なることが多い

・相談する時間が、平日の昼間とかに限られているので、なかなか相談できない

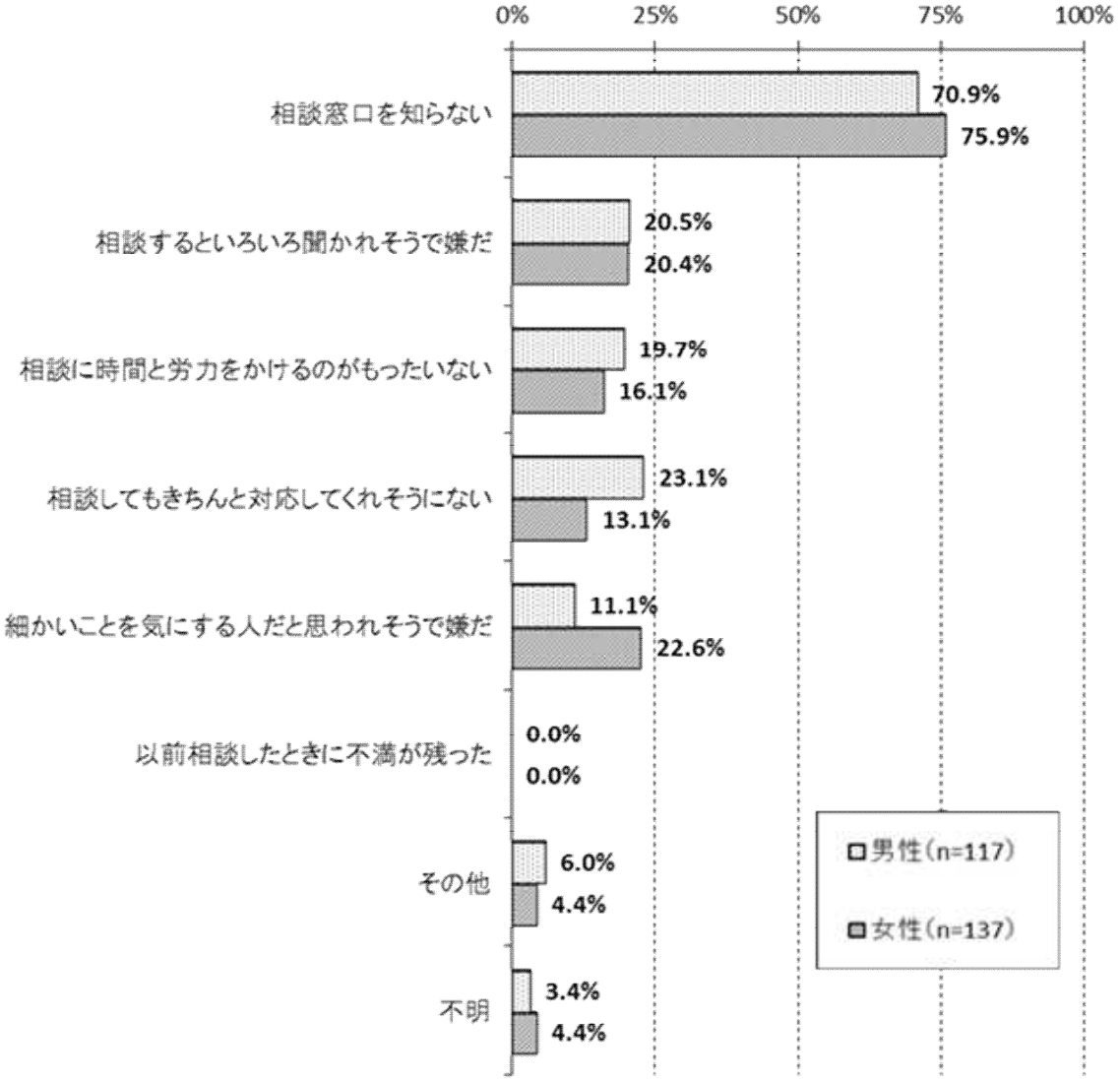
・取り立てて理由はないが、なんとなく相談しにくい

・娘がノロウィルスによると思われる症状を発症したが、保健所で検便を指示された。その後の説明が極めて不十分で、症状がでて苦しんだのに、もう少し説明してほしかった

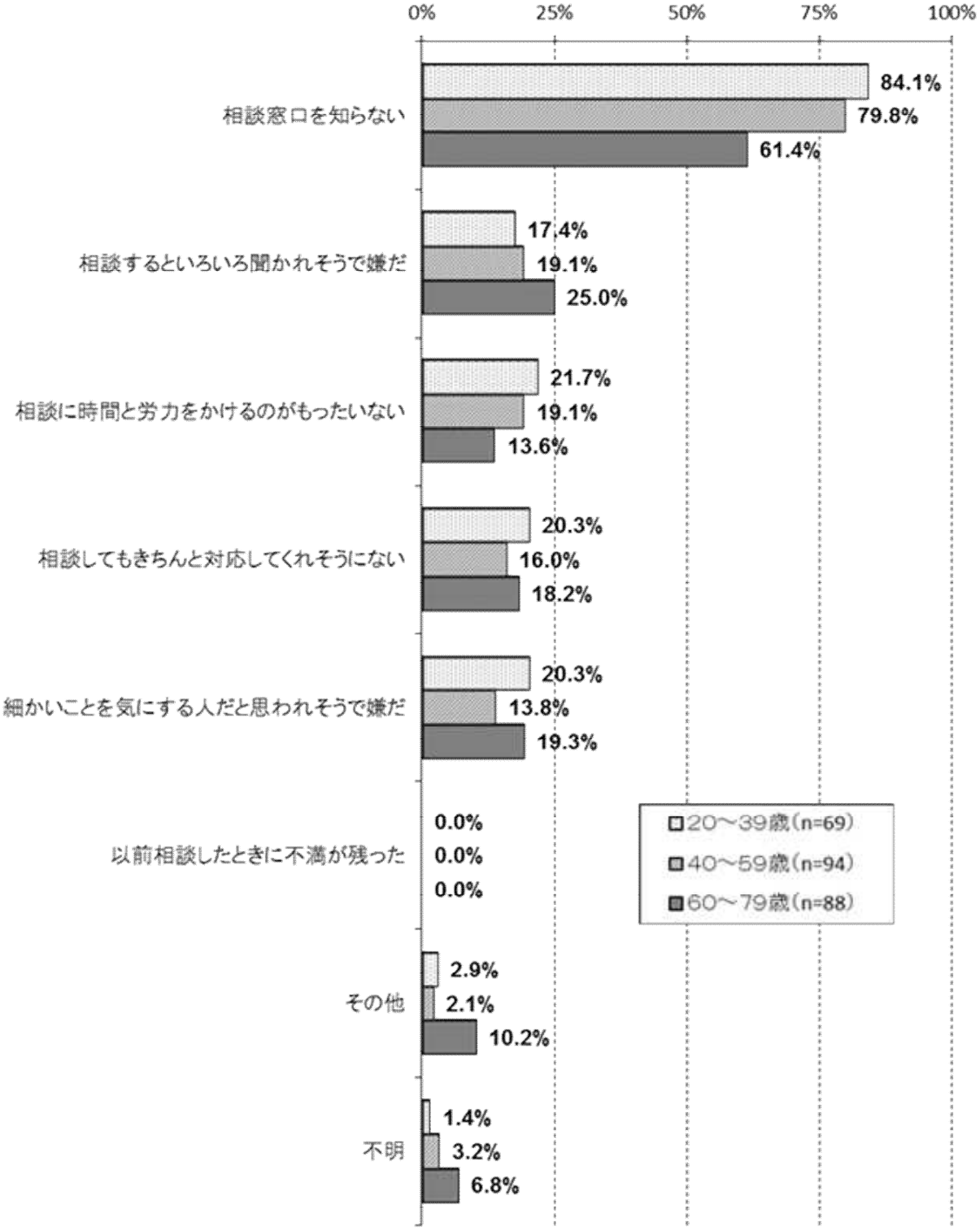
・聞いて答えてくれても、答えてくれた内容が理解できなければ何もならない

・果物など、いたんでいたりすると店へ持って行き、交換してもらう

【男女別】


0%
25%
50%
75%
100%
相談窓口を知らない
70.9%
75.9%
相談するといろいろ聞かれそうで嫌だ
20.5%
20.4%
相談に時間と労力をかけるのがもったいない
19.7%
16.1%
相談してもきちんと対応してくれそうにない
23.1%
13.1%
細かいことを気にする人だと思われそうで嫌だ
11.1%
22.6%
以前相談したときに不満が残った
0.0%
0.0%
その他
6.0%
4.4%
不明
3.4%
4.4%
男性（n=117）
女性（n=137）

【年代別】


0%
25%
50%
75%
100%
相談窓口を知らない
84.1%
79.8%
61.4%
相談するといろいろ聞かれそうで嫌だ
17.4%
19.1%
25.0%
相談に時間と労力をかけるのがもったいない
21.7%
19.1%
13.6%
相談してもきちんと対応してくれそうにない
20.3%
16.0%
18.2%
細かいことを気にする人だと思われそうで嫌だ
20.3%
13.8%
19.3%
以前相談したときに不満が残った
0.0%
0.0%
0.0%
その他
2.9%
2.1%
10.2%
不明
1.4%
3.2%
6.8%
20～39歳(n=69)
40～59歳(n=94)
60～79歳(n=88)

Ⅲ　付録（単純集計表）

性別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	男性	175	48.1	48.1
2	女性	189	51.9	51.9
	不明	0	0.0	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	364

年代別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	20～39歳	90	24.7	24.7
2	40～59歳	129	35.4	35.4
3	60～79歳	145	39.8	39.8
	不明	0	0.0	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	364

地区別（大圏域）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%	(除不明)%
1	下越	32	8.8	8.8
2	新潟	139	38.2	38.2
3	中越	111	30.5	30.5
4	魚沼	31	8.5	8.5
5	上越	43	11.8	11.8
6	佐渡	8	2.2	2.2
	不明	0	0.0	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	364

問1　　あなたは普段自宅で、どのくらいの頻度であなたや家族の食事を料理しますか。（1つだけ選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	１日に1回以上（朝･昼･夕食のうち一部だけでも可）	214	58.8	58.8
2	２日に1回以上（　　〃　　）	14	3.8	3.8
3	週に1回以上　（　　〃　　）	34	9.3	9.3
4	月に1回以上　（　　〃　　）	24	6.6	6.6
5	月に1回未満　（　　〃　　）	20	5.5	5.5
6	料理はしない	58	15.9	15.9
	不明	0	0.0	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	364

問2　　あなたは食品の安全性について不安を感じていますか。（1つだけ選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	感じている	273	75.0	75.6
2	感じていない	67	18.4	18.6
3	わからない	21	5.8	5.8
	不明	3	0.8	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	361

《問2で、「不安を感じている」と答えた方にお聞きします》

問2－2　具体的にどのようなことに不安を感じていますか。（当てはまるものすべて選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	食品添加物の使用	188	68.9	69.1
2	農薬の残留	172	63.0	63.2
3	放射性物質による汚染	148	54.2	54.4
4	水銀やカドミウムなど重金属による汚染	49	17.9	18.0
5	細菌やウイルスによる食中毒	87	31.9	32.0
6	毒きのこや有毒植物による食中毒	23	8.4	8.5
7	食品への異物混入	86	31.5	31.6
8	食物アレルギー	62	22.7	22.8
9	食品の表示や宣伝の信ぴょう性	148	54.2	54.4
10	遺伝子組換え食品の使用	85	31.1	31.3
11	輸入食品の安全性	207	75.8	76.1
12	BSE（牛海綿状脳症）の発生	56	20.5	20.6
13	その他	5	1.8	1.8
	不明	1	0.4	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	273	100.0	272

問3　あなたは食品を購入する際、どの表示事項を重視していますか。（当てはまるものすべて選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	価格	284	78.0	78.9
2	生産者・製造者	150	41.2	41.7
3	原産地	287	78.8	79.7
4	原材料	131	36.0	36.4
5	食品添加物	145	39.8	40.3
6	期限表示	232	63.7	64.4
7	アレルギー表示	41	11.3	11.4
8	カロリーなどの栄養表示	76	20.9	21.1
9	遺伝子組換え	83	22.8	23.1
10	その他	3	0.8	0.8
11	特になし	4	1.1	1.1
	不明	4	1.1	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	360

問4　あなたは普段の食生活で、食中毒予防のために心がけていることがありますか。（当てはまるものすべて選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	食事または調理の前に手を洗う	297	81.6	83.4
2	肉類や加熱用食材は十分に加熱する	292	80.2	82.0
3	生肉や生魚を下処理した調理器具で他の食材に触れないようにする（調理器具を使い分けるか、洗浄してから他の食材に触る）	197	54.1	55.3
4	焼肉の際は、生肉をつかむ箸と焼けた肉をつかむ箸とを別々にする	160	44.0	44.9
5	できあがった料理は室温に長時間置かないようにする	186	51.1	52.2
6	食べないようにしている食品がある（好き嫌いではなく食中毒予防を目的として）	34	9.3	9.6
7	その他	2	0.5	0.6
8	特になし	12	3.3	3.4
	不明	8	2.2	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	356

問５　県では、「にいがた食の安全・安心条例」を制定し、下図に示したような取組を重点的に行っています。食の安全に関する情報の発信にも取り組んでいるところですが、あなたが県から特に発信してほしい内容はどれですか。（当てはまるものすべて選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	食中毒の種類や予防法	182	50.0	50.7
2	食品表示のルールや見方	160	44.0	44.6
3	残留農薬のルールや安全性	163	44.8	45.4
4	食品添加物のルールや安全性	172	47.3	47.9
5	放射性物質に関する知識	158	43.4	44.0
6	事業者に対する監視指導の実施状況	118	32.4	32.9
7	流通食品の検査結果	140	38.5	39.0
8	食中毒事件や違反食品の発生情報	179	49.2	49.9
9	その他（自由記載）	3	0.8	0.8
10	特になし	19	5.2	5.3
	不明	5	1.4	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	359

問6　あなたは、行政機関（保健所、消費生活センターなど）に対し、食品の安全面や表示に関する苦情や疑問を気軽に相談できると感じていますか。（1つだけ選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	気軽に相談できると感じている	33	9.1	9.3
2	どちらかといえば気軽に相談できると感じている	71	19.5	20.0
3	どちらとも言えない	130	35.7	36.6
4	どちらかといえば気軽に相談できないと感じている	80	22.0	22.5
5	気軽に相談できないと感じている	41	11.3	11.5
	不明	9	2.5	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	364	100.0	355

《問6で、3～5を選んだ方にお聞きします》

問6－2　気軽に相談できないと感じる理由は何ですか。（当てはまるものすべて選択）

No.	選択肢	件数	(全体)%	(除不明)%
1	相談窓口を知らない	187	74.5	77.6
2	相談に時間と労力をかけるのがもったいない	45	17.9	18.7
3	相談してもきちんと対応してくれそうにない	45	17.9	18.7
4	相談するといろいろ聞かれそうで嫌だ	52	20.7	21.6
5	細かいことを気にする人だと思われそうで嫌だ	44	17.5	18.3
6	以前相談したときに不満が残った	0	0.0	0.0
7	その他	13	5.2	5.4
	不明	10	4.0	－
	サンプル数（%ﾍﾞｰｽ）	251	100.0	241

（　　余　　白　　）

新潟県